

かわり方(1)

名前 _____

☆長さ16 cmのロープで四角形を作る時、
たての辺と横の辺の長さの関係を調べましょう。

(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

横の辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5		7
たての辺の長さ(cm)	7		5		3	2	1

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① 横の辺の長さが1cmずつふえていくと、たてのへんの長さは
□センチずつ□いきます。

② 横の辺の長さとなての辺の長さをたした数は□になります。

式で表すと

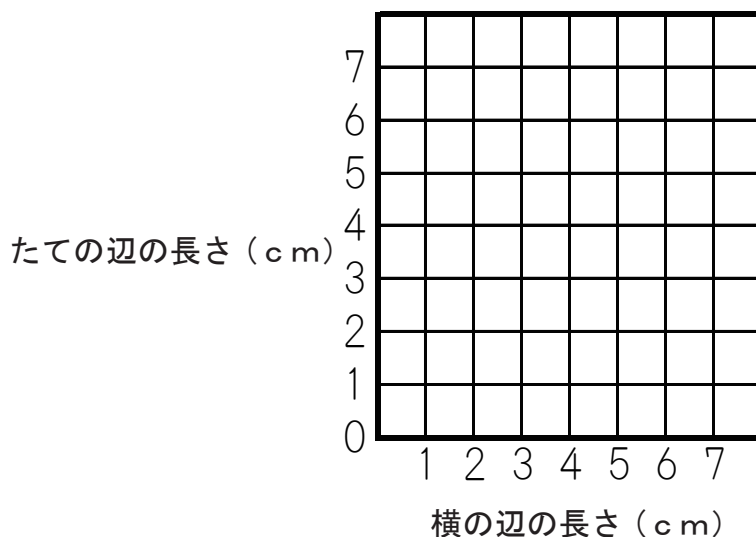
□の辺の長さ + たての辺の長さ = □ となります。

③ 横の辺の長さが 5 cmのときのたての辺の長さは

□ - □ = □ (cm) となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、6	キ、7	ク、8		
ケ、たて	コ、横	サ、ふえて	シ、へって	

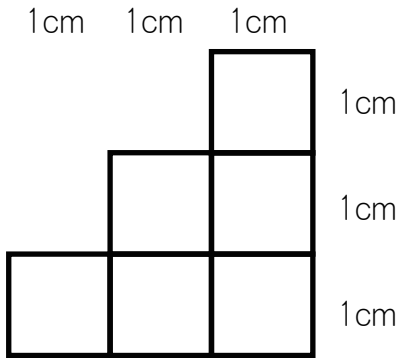
(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



かわり方 (2)

名前 _____

☆ 1辺の長さが1cmの正方形を組み合わせて、下の階段のような形の図をつくります。だん数と周りの長さの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところに

あてはまる数を書きましょう。

かいだんのだん数	3	4	5	6	7		9
周りの長さ(cm)	12		20		28	32	36

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① かいだんのだん数が1だんずつふえていくと、周りの長さは

□センチずつ□いきます。

② かいだんのだん数に□をかけた数が周りの長さになります。

式で表すと

かいだんのだん数 × □ = 周りの長さ となります。

③ 周りの長さが 48 cmのときのかいだんのだん数は

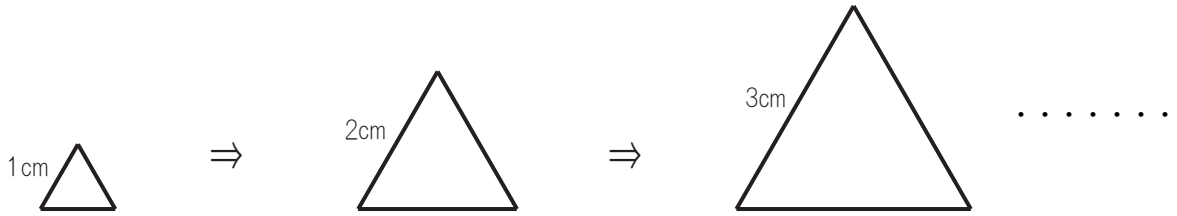
□ ÷ □ = □だん となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、44	キ、46	ク、48	ケ、10	コ、12
サ、ふえて		シ、へって		

かわり方 (3)

名前 _____

☆1辺の長さが1cmの正三角形があります。下のように1辺の長さを1cmずつふやしたときの周りの長さとの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

1辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5		7
周りの長さ(cm)	3		9		15	18	21	

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① 1辺の長さが1cmずつふえていくと、周りの長さは
□センチずつ□いきます。

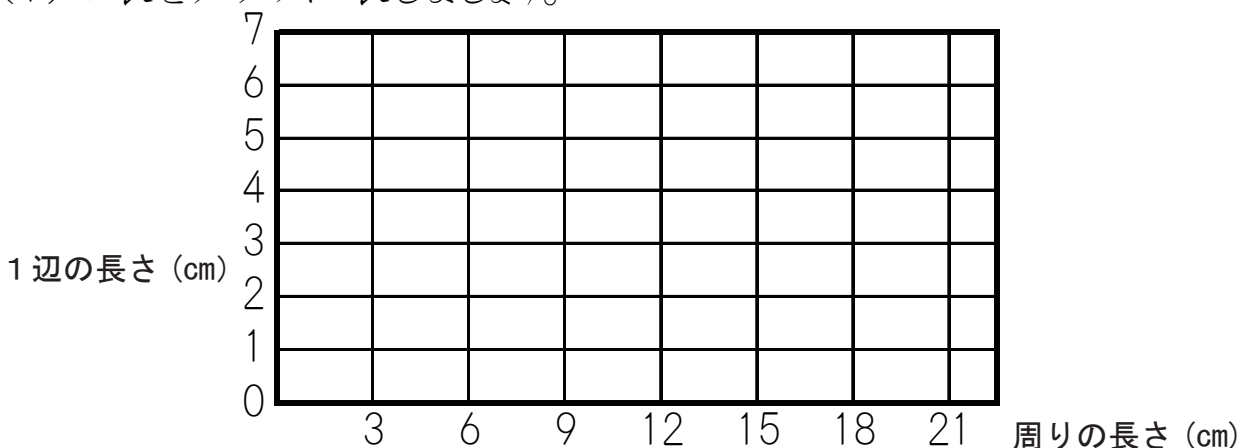
② 周りの長さは1辺の長さに □ をかけた数の長さになります。
式で表すと

1辺の長さ × □ = 周りの長さ となります。

③ 周りの長さが 33 cmのときの正三角形の1辺の長さは
□ ÷ □ = □ (cm) となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、10	キ、11	ク、12	ケ、30	コ、31
ケ、32	コ、33	サ、ふえて	シ、へって	

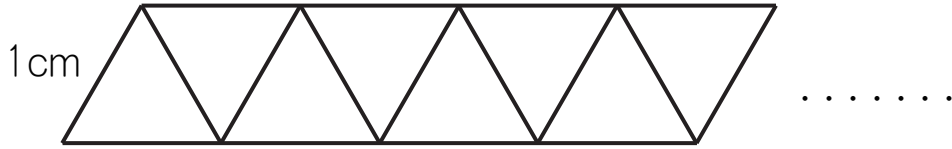
(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



かわり方 (4)

名前 _____

☆1辺が1cmの正三角形を下のようにならべます。
このとき正三角形の数と周りの長さの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

正三角形の数	1	2	3	4	5		7
周りの長さ(cm)	3		5		7	8	9	

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① 正三角形の数が1こずつふえていくと、周りの長さは
□センチずつ□いきます。

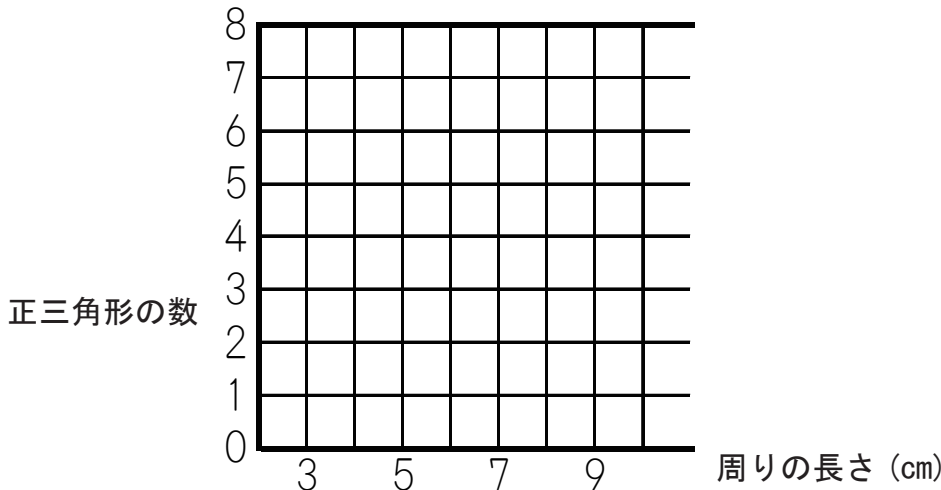
② 周りの長さは正三角形の数に□をたした数の長さになります。
式で表すと

正三角形の数 + □ = 周りの長さ となります。

③ 周りの長さが 14 cmのときの正三角形の数は
□ - □ = □ となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、12	キ、13	ク、14	ケ、15	コ、16
サ、ふえて	シ、へって			

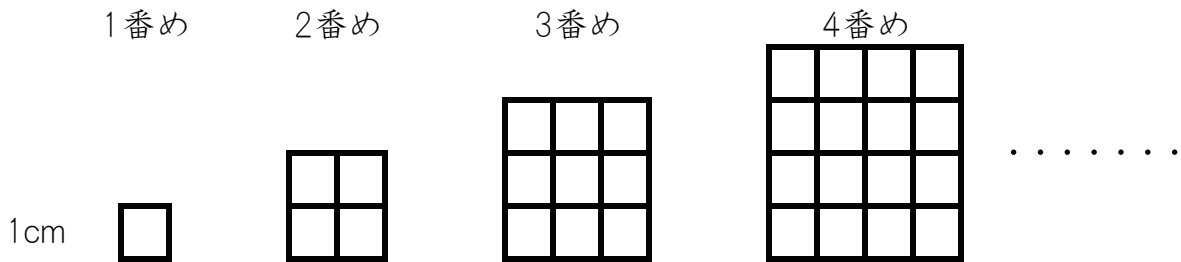
(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



かわり方 (5)

名前 _____

☆ 1辺の長さが1cmの正方形を下のようにならべていきます。
このとき正方形の数と周りの長さの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

ならべ方(番め)	1	2	3	4	5		7
周りの長さ(cm)	4		12		20	24	28	

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① ならべ方の数がひとつずつふえていくと、周りの長さは
□センチずつ□いきます。

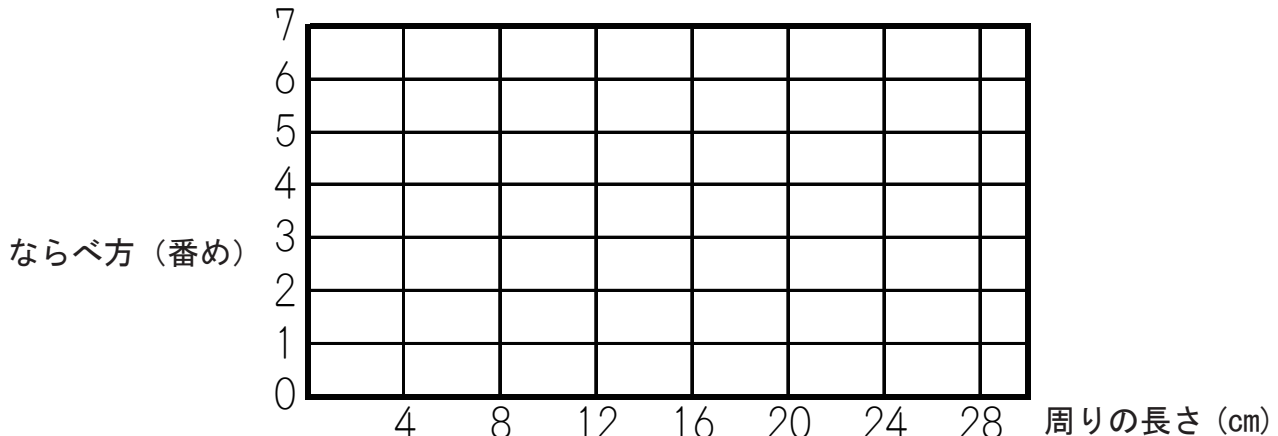
② ならべ方の数は周りの長さを □ でわった数になっています。
式で表すと

周りの長さ ÷ □ = ならべ方の数 となります。

③ ならべ方の数が 9 番めのときの周りの長さは
□ × □ = □ (cm) となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、8	キ、9	ク、34	ケ、36	コ、38
サ、ふえて	シ、へって			

(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



かわり方(6)

名前 _____

☆ あゆさんは120ページの本を1日に15ページずつ、ひろきさんは100ページの本を1日に10ページずつ読みます。

(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

あゆさんの本の読んだページ数と、^{のこ}残りのページ数^かの変わり方

読んだ日数(日)	0	1	2		4				
読んだページ数(ページ)	0	15	30	45					
残りのページ数(ページ)	120	105		75	60				

ひろきさんの本の読んだページ数と、残りのページ数の変わり方

読んだ日数(日)	0	1		3	4						
読んだページ数(ページ)	0	10	20	30							
残りのページ数(ページ)	100	90	80		60						

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① あゆさんの本の読んだページ数は、読んだ日数と □ をかけた数になっています。式で表すと

$$\text{読んだ日数} \times \square = \text{読んだページ数} \quad \text{となります。}$$

② あゆさんの本の残りのページ数は、□ から読んだページ数をひいた数になっています。式で表すと

$$\square - \text{読んだページ数} = \text{残りのページ数} \quad \text{となります。}$$

③ 3日目のあゆさんの本の残りのページ数は、□ ページ、ひろきさんの本の残りのページ数は、□ ページで、□ の方が □ ページ多いです。

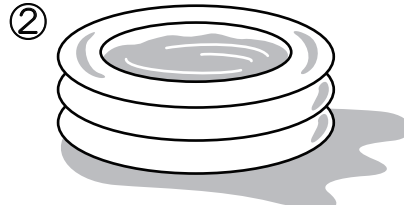
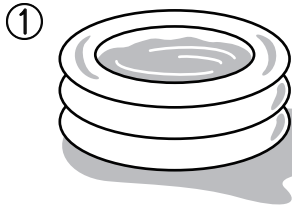
④ 二人が同じ日に読み始めた場合、□ の方が、□ 日早く、本を読み終わります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、100	オ、120
カ、15	キ、10	ク、5	ケ、75	コ、70
サ、あゆさん	シ、ひろきさん			

かわり方 (7)

名前 _____

☆ ①と②のビニールプールがあります。それぞれの底にあるせんを開けて水をぬくと、下の表のようにプールの中の水の量が変化していきます。



①のプールの水の量の変化り方

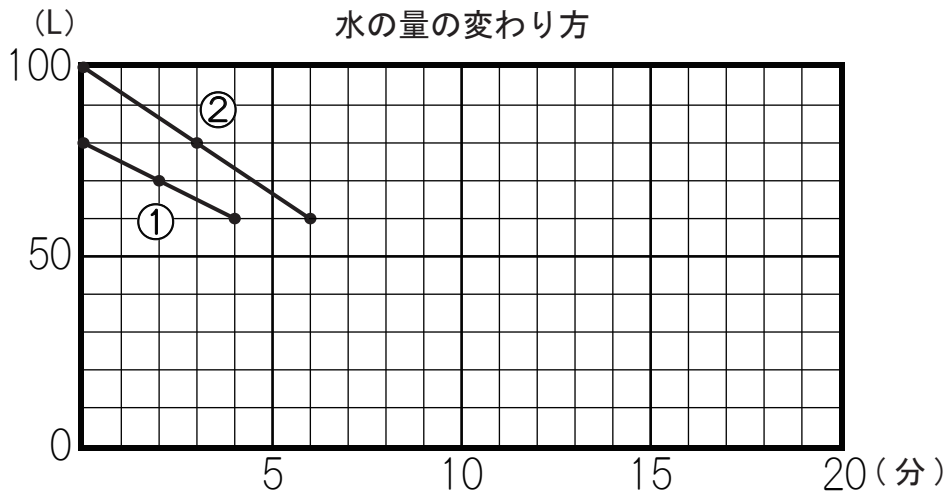
時間 (分)	0	2	4	6
水の量 (L)	80	70		50	40

②のプールの水の量の変化り方

時間 (分)	0	3	6	9
水の量 (L)	100	80	60		20

(1) 上の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

(2) ①と②のプールの水の量の変化り方をグラフに表しましょう。



(3) ①と②のどちらのプールの水が、先になくなるでしょうか。

答 _____